

行政評価シート【重点戦略】

重点戦略 1－（１）

希望する結婚・妊娠・出産がかなう

基本的な方向性

- 若い世代が将来の生活を見通すことができるよう支援を行うとともに、年齢・身体的、経済的な理由等によって、結婚・妊娠・出産を諦めることがないよう、必要な環境を整えます。

KPI（重要業績評価指標）の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
保育所等申込者に対する受入可能人数の割合	97.0%	97.7%				100%
正規雇用促進補助件数【累計】	229 件	322 件				429 件

戦略推進のための主な取組の「成果」

- ・奨学金を返済している若い世代の経済的負担の軽減に向けて、奨学金返済額の一部を補助しました。
- ・不妊治療（先進医療）費や不育治療費を助成することで、希望する妊娠、出産が叶うよう支援しました。
- ・個別就労相談、近隣自治体と連携による企業合同就職面接会を開催するほか、求職者と企業双方の雇用ミスマッチの解消を図るため、企業向けの採用力強化セミナーや合同会社説明会を実施するなど求職者と企業のマッチング機会を創出するとともに、各種補助制度により、正規雇用の取組を支援したほか、従業員の奨学金返済支援制度の導入を促進しました。
- ・DX の視点を盛り込んだ人材育成計画の策定に係る専門家を派遣するとともに、人材育成計画を策定した事業者へ奨励金を支給し、事業者の人材育成体制の整備を促進しました。
- ・保育所等の整備に対する助成を行うとともに、保育士確保に向けて、保育士確保特設サイトで市内民間保育所や本市独自の保育士支援策を紹介したほか、3市町合同での就職応援フェアを開催しました。加えて、一時預かりや病児・病後児保育など特別保育の実施、放課後児童クラブの増設を進め、受入児童数を拡充しました。
- ・平塚・中郡地域で唯一、二次救急を扱える病院として、産科・小児科の救急患者を受け入れ、地域の小児・周産期医療体制を維持し、安心して、出産、育児ができる環境を整備しました。

戦略を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・若い世代の希望をかなえる総合的な支援が必要です。
- ⇒ライフデザインの提示や将来の妊娠・出産に向けた情報発信など、若い世代が将来の人生設計を安心して描くための対策を推進するとともに、生活基盤の安定に向けた支援に取り組みます。
- ・良質な労働環境による家計の安定や必要な技術や資格取得に向けた支援が必要です。
- ⇒関係機関と連携し、企業と求職者のマッチング機会を創出するとともに、子育て世代の女性等を正規雇用する中小企業への助成や、人材育成体制の構築に取り組む中小企業等に対する専門家派遣や奨励金制度を実施します。
- ・保育需要を見極めながら、待機児童の解消や保育の質を向上する必要があります。また、各地区の放課後児童クラブのニーズに基づいた整備が必要になります。
- ⇒民間保育所などの定員拡大を伴う施設整備や小規模修繕を支援するとともに、保育士確保や入所児童の保育環境の改善を図るため、施設運営費などの助成を行います。また、放課後児童クラブの利用児童数の増加に対応するため、既存クラブの分割などを推進します。
- ・産科・小児科の二次救急は、採算性の確保が困難な部門であり、安定した病院経営を継続する必要があります。
- ⇒安定した病院経営のため、医師の確保に努めるとともに、市民病院の役割・機能を明確化・最適化し、休日・夜間診療所や地域の医療機関との連携を強化します。

戦略推進のための「【取組】（事業）」

- 【若い世代への奨学金返済支援】（青少年奨学金返還支援事業）
- 【将来の妊娠に必要な情報の提供や支援】（母子保健事業）
- 【良質な就労環境による家計の安定】（中小企業経営支援事業、就労支援事業）
- 【必要な技術や資格取得に向けた支援】（中小企業経営支援事業）
- 【働きながら子育てができる環境づくり】（民間保育所施設整備支援事業、民間保育所助成事業、民間保育所保育士確保支援事業、特別保育拡充事業、放課後児童健全育成事業、小児医療費助成事業）
- 【周産期・小児救急医療体制の確保】（産科・小児科二次救急実施事業）
- 【保育所等におけるＩＣＴの活用】（民間保育所助成事業、公立保育所等運営事業）